

経営発達支援事業 外部評価委員会報告書

1. 外部評価委員会の目的

当所では、令和4年3月に国（経済産業省）より認定されました「経営発達支援計画」を基盤として、地域の小規模事業者の持続的発展を目指すため、事業者に寄り添った伴走型の経営支援を推進しております。

国の指針として、年に一度、外部評価委員による事業評価を行い、経営支援の内容等について改善を図り、小規模事業者にとってより効果のある伴走支援を実施していくことと定められております。

当所の「経営発達支援計画」のこれまでの事業について実績報告し、今後の効果的な経営支援方法や改善点等について協議することを目的としています。

2. 外部評価委員会開催日

日時： 令和8年2月25日（水）14時～16時

場所： 信州中野商工会議所 多目的ホール

3. 外部評価委員会出席者

◆信州中野商工会議所

| | |
|----------|------------|
| 専務理事 | 池田喜芳 |
| 中小企業相談所長 | 海野 健 |
| 経営支援課係長 | 有賀雅幸 |
| 経営支援課 | 中村さとみ、池田成彬 |

◆中野市経済部商工観光課

| | |
|--------|------|
| 商工観光課長 | 池田 寿 |
|--------|------|

◆外部評価委員（3名）

| | |
|-----------------------|--------|
| 株式会社エイチ・エーエル 代表取締役 | 田村嘉康 様 |
| 北信エリア商工会議所広域専門指導員 | 押金明人 様 |
| 日本政策金融公庫長野支店 国民生活事業統括 | 斎藤健一 様 |

4. 経営発達支援事業の評価を行なう項目

1 地域の経済動向調査に関すること

各種動向調査や計画的な訪問調査等により地域経済動向を調査し、その調査結果を分

析することで地域経済の実態を把握し、情報のデータベース化を行う。

(ア) 地域の経済動向分析

(イ) 中野市製造業景況調査

2 経営状況の分析に関すること

小規模事業者の経営状況の調査・分析を行い、経営分析データを蓄積する。

巡回訪問・窓口相談、セミナー開催時などに事業者へ周知する。また、経営分析では、財務分析と非財務分析の多面的な分析を行い、事業者の経営課題などを顕在化させる。

3 事業計画策定支援に関すること

創業者や小規模事業者に対して、需要動向を見据えた事業計画策定の支援を行う。

経営分析を行った事業者への案内や事業計画策定セミナーを通じて事業計画策定の意義や必要性を周知し事業計画策定を支援する。

(ア) DX 推進セミナーの開催・IT 専門家派遣の実施

(イ) 事業計画策定支援

4 事業計画策定後の実施支援に関すること

四半期ごとにフォローアップを実施。すべての事業計画に対し、伴走型で支援することで、計画の成果をあげることを目指す。

5 需要動向調査に関すること

需要動向に関する情報を収集し、小規模事業者へ情報提供できる環境を整える。小規模事業者の商品の需要動向調査として、地元客・バイヤー向けの商品調査機会を提供し、売れる商品づくりを支援する。

(ア) 地元客向け商品調査

(イ) バイヤー向け商品調

6 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

売上拡大効果（新たな需要獲得効果）が高い取組の支援をする。特に、小規模事業者の多くは IT の活用が不十分であることから、ネットショップの構築支援や「なっちょまーと」を活用した販路開拓といった IT を活用した販路開拓支援を新たに実施する。

(ア) 展示会・商談会の出展支援

(イ) 産業フェア in 信州 (BtoB)

(ウ) うまし逸品個別商談会 (BtoB)

(エ) ネットショップの構築支援 (BtoC)

(オ) 「なっちょまーと」を活用した販路開拓 (BtoC)

5. 外部評価委員による評価基準

- A：計画目標を達成することができた 5点
 B：計画目標を概ね達成することができた 4点
 C：計画目標を半分程度しか達成することができなかった 3点
 D：計画目標をほとんど達成することができなかった 2点
 E：未実施 1点

※改善が必要な事項など意見については評価シートに記載する

6. 外部評価委員による評価結果

| 項目等 | 意見・改善事項等 | 評価 |
|-----------------------|--|-----|
| 1. 地域の経済動向調査に関すること | <ul style="list-style-type: none"> マクロ視点の RESAS と事業者ヒアリングによるミクロ視点において調査されておりました。今後は調査結果を個社にどのようにフィードバックした実績かお聞きしたいです。 景況調査で 20 社の主の声を聞けています。 外部資料等を駆使しながら独自調査をしており、事業者のヒントにもなっている。 | 5.0 |
| 2. 経営状況の分析に関すること | <ul style="list-style-type: none"> 目標達成はもちろん。ローカルベンチマークを読み取る能力向上から成果として先に個社とのコミュニケーション（信頼）が取れており、課題設定支援が実践できていると感じられました。 月 1 回の勉強会がローカルベンチマークについて学び、決算書を見る目を養うことができている点は評価できます。 ローカルベンチマークを使い実績が計画を初めて上回った。 | 5.0 |
| 3. 事業計画策定支援に関すること | <ul style="list-style-type: none"> 個社支援（創業支援含めて）の状況が良く分かるご報告でした。日々、指導員様がしっかり個社に対して伴走支援している姿が思い浮かびました。 持続化補助金や創業計画を中心に計画を大きく上回っています。 目標の数字はすべて上回っており、創業計画もふえており事業者を増やす意味でも成果あり。 | 5.0 |
| 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること | <ul style="list-style-type: none"> フォローアップの目標件数が大幅に超えており、驚きました。伴走支援はやる気のある事業所でないと成立しませんので、引き続きよろしくお願いたします。 意欲のある先に丁寧なフォローアップ支援ができています。 | 5.0 |

| | | |
|--------------------------|---|-----|
| | <ul style="list-style-type: none"> 計画以上の数字を上げているが、引き続き継続的な支援をしていただきたい。 | |
| 5. 需要動向調査に関すること | <ul style="list-style-type: none"> 本事業を通して事業所にとって今後の商品開発・販売促進に役立てていただけるよう引き継ぎ、伴走支援の実施をお願いいたします。 商法が成果につながっています。 目標は達成いただいている。改善項目を共有して次につなげていただきたい。 | 5.0 |
| 6. 新たな需要に開拓に寄与する事業に関すること | <ul style="list-style-type: none"> 本事業の目的は事業者の売上・利益拡大等になりますので、展示会出展回数等に囚われず伴走支援いただければと存じます。また事業者にとって「事業機会の創出」が本当に大切になります。その機会を永続的に続くようご支援いただき、いつか商工会議所様の手から離れ自走化できるようにご尽力いただければと存じます。 日本公庫のアグリフード EXPO など新たな展示会などの活用も検討してはいかがでしょうか。 初めて参加する事業者選びは非常に良いと思う。ネットショップ、なっちょマートはあきらめずに挑戦してほしい。 | 4.3 |

※点数は外部評価委員3名の評価を平均して算出